

資料 1

有識者プレゼンテーション

A G C（旭硝子）グループにおける
『技術・技能の強化、伝承活動』
と『人材育成』

AGC(旭硝子)グループにおける 『技術・技能の強化、伝承活動』 と『人材育成』

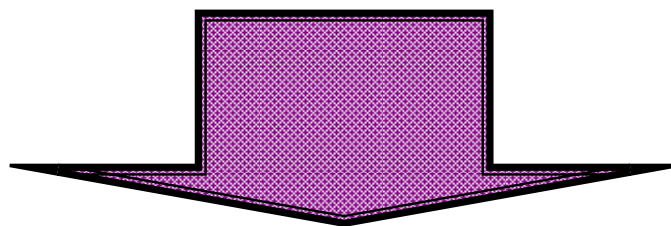
2007年4月19日

旭硝子株式会社

モノづくり技術強化室長 大日向 正文

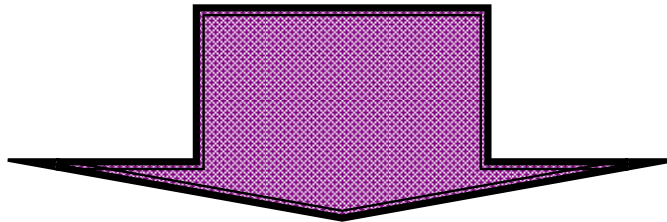
1. 旭硝子(単体)の状況・課題

- 定年退職及びShrinkによる高度技術者、熟練技能者の離職
- 機械化、自動化の推進
- 生産拠点海外移転による国内空洞化、技術・技能の流出
- 急速な事業拡大による技術者・技能者の拡散
- 新事業分野に対応できる技術者・技能者の不足
- “OJT”中心の育成の仕組みの崩壊



その結果、

- 社内に高度技術者・熟練技能者がいなくなりつつある
 - ⇒災害や事故の頻発
 - ⇒生産性向上の停滞
- 事業拡大に対する、特に質の面で十分な技術者・技能者の不足



『モノづくりへのこだわりと現場力の強化』が
経営方針“**JIKKO**”の中で主要イニシアチブとして掲げられた

2. 活動推進施策

『モノづくりへのこだわり』と「現場力」の強化

技術・技能の強化、伝承

技術・技能の絞込み

ヒトづくり

技能・技術評価

- ◇ 技能評価システム
- ◇ 技能マップ
- ◇ Sコース人材評価制度
- ◇ 技術評価システム

教育・育成

- ◇ 教育体系
- ◇ 育成基準
- ◇ 技術研修
- ◇ 技能研修

人財活用

- ◇ Sコース人材採用
- ◇ 再雇用高度技術者・技能者の活用
- ◇ プロフェッショナル制度
- ◇ マイスター制度

風土・土壌

- ◇ 経営TOPの強い思いと行動
- ◇ 小集団活動の活性化
- ◇ 改善提案の活性化
- ◇ 技術・技能に関わる表彰制度
- ◇ 技術・技能交流会

- ◇ 推進組織
モノづくり技術強化室
AGCモノづくり研修
センター
- ◇ 各部門との連携



3. 「やる気」の創出

- ✓ 『育成基準書』の中に、「AGCグループ技術者・技能者のあるべき姿」「キャリアラダー」「育成フロー」等を明記。
- ✓ 『新入社員研修』において、「モノづくりの難しさ・喜び」を体得させ、モノづくりに興味を持たせるよう工夫。
- ✓ 「理論＋実践」の実学一体の『技術・技能研修』の実施。
- ✓ 『プロフェッショナル制度』『マイスター制度』の制定と活用。
- ✓ 改善提案及び小集団活動成果について、『全社大会』の開催。

4. 技能強化、伝承活動

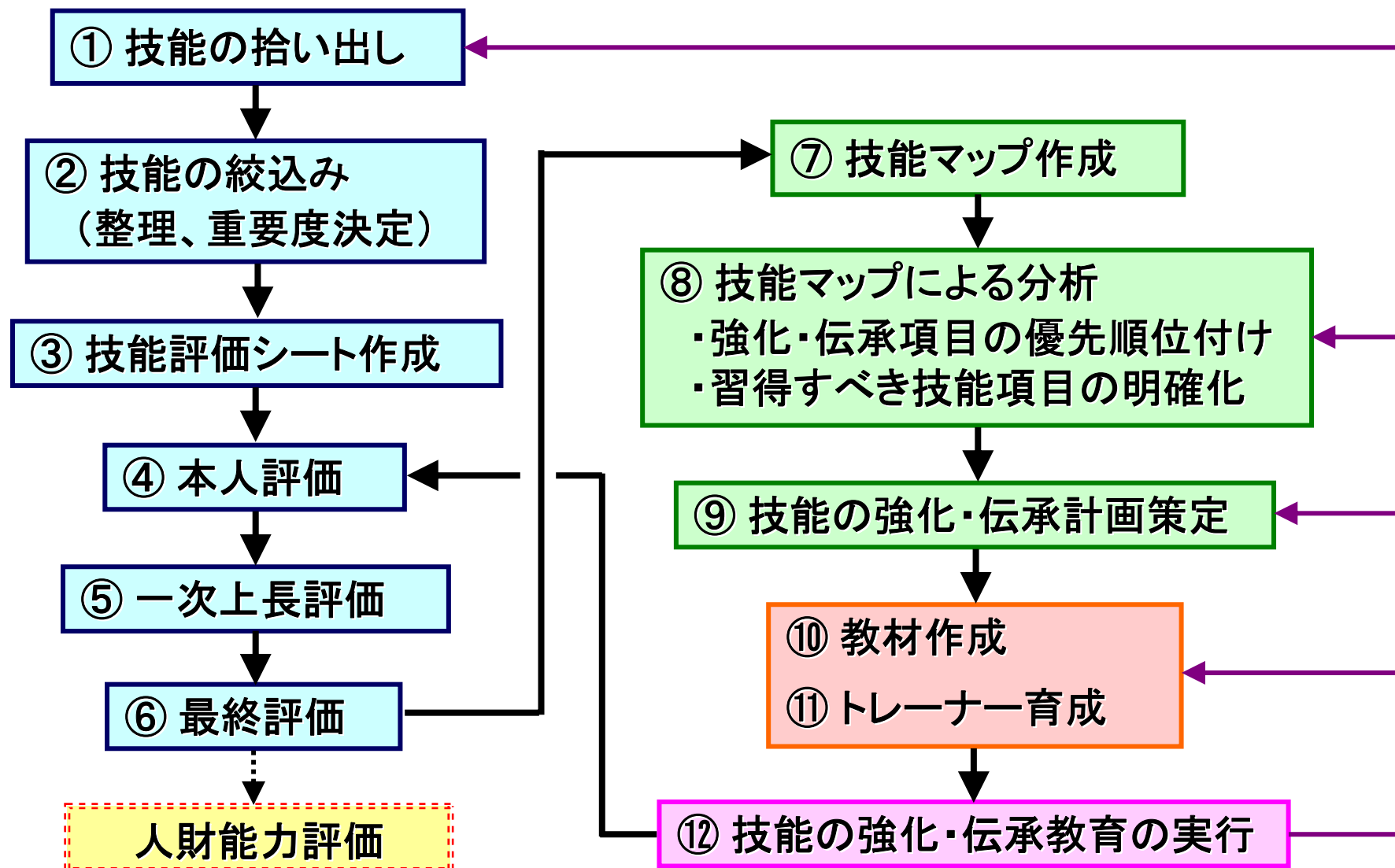
技術・技能教育研究所 森和夫先生(前東京農工大教授)との共同研究契約により、2004年7月より“CUDBAS[クドバス A Method of Curriculum Developing Based on Ability Structure]”手法を用いて、活動スタート

* “CUDBAS”とは : 1990年に開発され、労働省(当時)が中心となり開発したPROTS(指導技術訓練システム)の一部分を構成しており、職業能力分析手法として、仕事の分析を簡潔・明瞭に、かつ短時間で完了できる手法

【 目的 】

- 部門・部署の保有すべき技能・知識の種類とレベルの明確化
- 教育訓練・技能伝承の体系的かつ戦略的实施
- 個々人の技能・知識の習得レベルの適正評価、育成計画策定・実施による「能力向上」と「やる気」の創出

【技能の強化、伝承活動のフロー】



今治市における人材育成の取り組み

【地域における海事クラスターの形成・振興】

今治市における 人材育成の取り組み



【地域における海事クラスターの形成・振興】

交通政策審議会 海事分科会 第二回ヒューマンインフラ部会

平成19年4月19日(木)

愛媛県今治市長 越智 忍

愛媛県今治市



- 瀬戸内海の中央
しまなみ海道(西瀬戸自動車道)の四国側玄関
- 平成17年1月1市9町2村で合併し
現在人口約18万人
- 主要産業は、海事産業とタオル産業
- 春・夏の高校野球で今治勢が連続出場中！

今治市の海事産業二大集積地



市内18造船所のうち、8つの造船所がひしめく波止浜地区

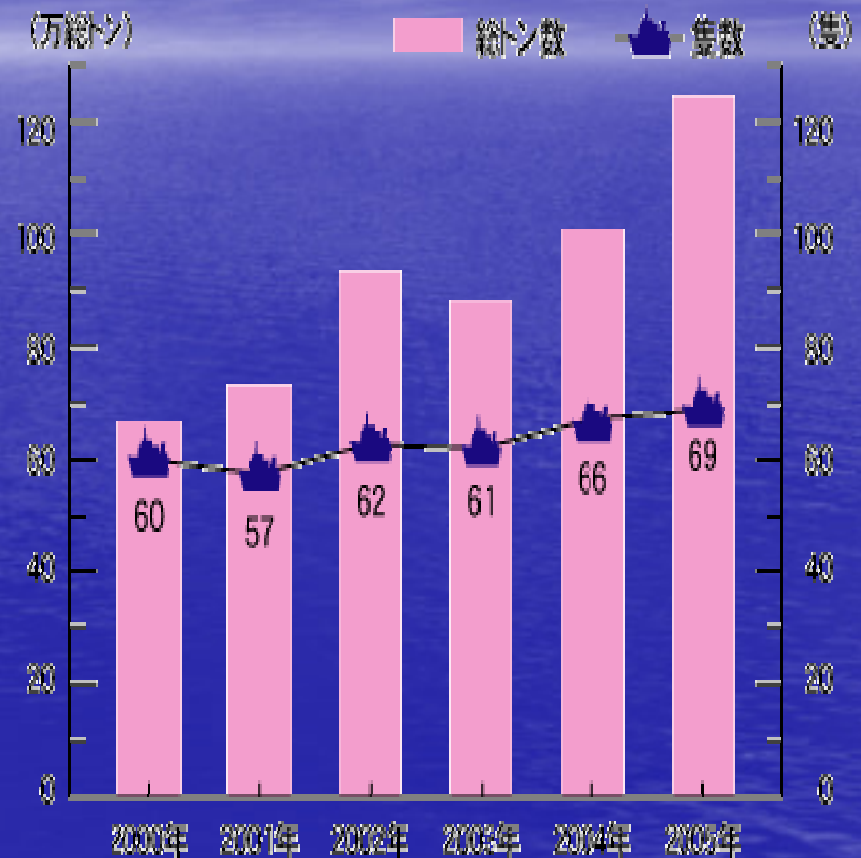
今治市の海事産業二大集積地



船用工業と共に造船団地が構成されている大西地区

「海事都市 今治」とは

- 世界に類をみない
海事産業の一大集積地
- 今治圏域は造船王国で
建造隻数・建造量とも
日本トップクラス
- 外航海運事業者が
保有する船舶数も
日本トップクラス





海事都市構想とは・・・

新時代に向けた
「海事都市 今治」
の創造

- 次世代の人材育成
- 海事クラスターの構築
- 海事文化の振興と交流の促進

次世代の人材育成

- ・ 海事啓発事業の実施
- ・ 地元船員育成高等教育機関との協業
- ・ 小中高生を対象とした出前海事教室

学校への啓発活動①

－教員の海事産業の視察－



まずは教員からも理解を得るため、海事産業の現状について視察をしてもらいました。

学校への啓発活動②

—進水式見学会—



地場産業の大切さと、かけがえのないものづくりのすばらしさを
進水式を通じて、子どもたちに感じてもらいました。

小中学生を対象とした出前海事教室①



商船三井客船日本丸元船長の講演会で、中学生に海への興味付けを行いました。

小中学生を対象とした出前海事教室②



中学生に対して「海のお仕事」を紹介する出前海事教室を実施しました。

地元船員育成高等教育機関との協業①



次世代の海技者育成に向けた取り組みの一環として、地元中学生を弓削丸の体験航海に招待し、海への興味付けを図りました。

地元船員育成高等教育機関との協業②



今治地域の海運会社へ、安定した海技者供給を図るため
弓削商船高専の教授・学生に対して今治市の外航海運業
をPRしました。

モノづくりの人材育成



3年目を迎えた今治地域造船技術センターでは熟練工の先生から新入工員に技術の伝承を行っています。

さらなる海事クラスターにむけ

